

見通しをもち、集中して学習に取り組む 授業の工夫

一人一人の「できた」を目指す
やってみようと思える仕掛けとできる課題設定

あひさつ
先生のはなし
準備じゆんぎ
せいさく活動
かたづけ
ふりかえり
あひさつ

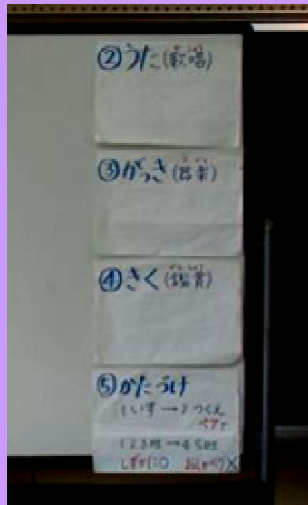
まてんどうぐらすふう
ステッドグラス風
小物入れ

課題と学習活動を示す
今日の課題と学習活動を示すことで、児童生徒が見通しをもち安心して学習に取り組むことができます。



今どこ、終わりが分かるように、
マグネットを移動させながら授業
を進めます。

カタカナ	
よむ	おわり
カタカナ	
プリント①	おわり
カタカナ	
プリント②	おわり
カタカナ	
たべもの	おわり



最後にお楽しみ課題
最後にお楽しみがあると励みになり、頑張る力がわいてきます。

児童生徒が見通しをもって学
習に参加できるように、各教
科で授業のパターンを統一し
ておきます。

タイムタイマー
残り時間が目に見えて分かることで終わりが見え、集中が続きます。場面によっては、時間内に終わるために急ぐにもつながります。

カードを使う、紙に書いて貼るだけにしておくと省力化になります。

せいさく活動

かたづけ

下絵
せん
い
線

01:18

タイマーで時間を区切る
タイマーで時間を区切ることで集中力がUPします。



授業のユニット化
10分程度の活動を組合せて授業を構成することで、最後まで授業に集中することができます。

授業の構成を考える際は、説明を聞く、見る、書く、操作する、やってみるなど、いろいろな活動を取り入れ、集中が続くようにしています。



学習意欲、理解を高める 授業の工夫

一人一人の「できた」を目指す
やってみようと思える仕掛けとできる課題設定

注目を促す言葉かけ

教師の注意を引きつける言葉かけで、全員が教師を見て目をつないで話を聞くことができます。

名前を書きます。

指示や説明は、1つずつ、ゆっくり、短い言葉で伝えるようにしています。

具体的で分かりやすい指示

言葉だけでなく、見本があることで、何をするのか理解できます。

教師は、生徒全員に指示が伝わったか、復唱したり確認したりすることを心がけています。

全員ができたこと(生徒の状態が揃ったこと)を確認してから次の指示を出すように心がけています。

注目を促すアクション

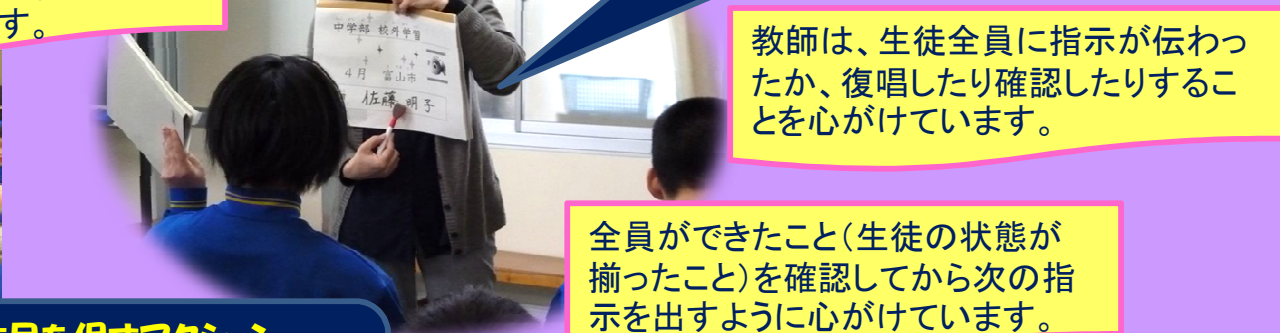
教師の表情、緩急付けた話し方、動きに、これから始まる学習に期待が膨らみます。

個別の言葉かけ

全体への指示では理解が難しい生徒も、個別に教えてもらえると分かります。

教師は、日頃から生徒の実態を捉え、必要な生徒にはさりげなく個別に言葉かけをしたりサポートしたりします。(TTを生かす)

豊かな表情、動作を付けた説明、メリハリある話し方…生徒に伝わるように、教師は伝える工夫をしています。

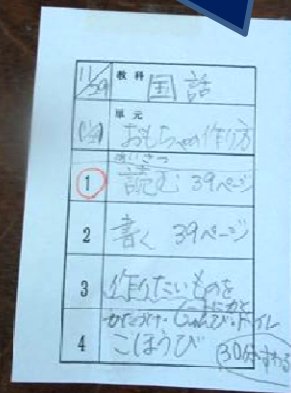


一人で取り組む課題学習、選べる課題 授業の工夫

一人一人の「できた」を目指す
やってみようと思える仕掛けとできる課題設定

学習活動を示すメニューカード(ボード)

机の端においてあれば、一人で学習を進めることができます。



一人でできるプリントや課題を
メニューにします。

課題BOX

上から順に課題を進めるシステム
にしておくことで、一人で学習
を進めていくことができます。



複数課題の準備

好きな課題、自分に合った課題
を選ぶことで、楽しみながら学習
を進めることもできます。



長時間座っていることが難しい児童生徒に「動き」を取り入れるために、
教室の共用テーブルに課題を置いておく場合もあります。

自分で答え合わせ

裏に答えや確認シートがあれば、確かめをしながら、
一人で学習を進めることができます。

確かめに操作を取り入れる
と、具体の学習につながり
ます。

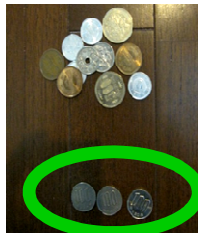


課題が終わったら、先生に丸付けを
してもらいます。順
番、待つルール学習
にもなります。

(1)カードを選ぶ



(2)お金を出す



(3)カードを裏返す



(4)確かめる



教師が一人で実態差のある児童生徒の学習
指導をする際に、集団学習と課題学習という
システムを組み合わせます。

2014/08/07 09:50